

## 手話通訳者のためのデマンド・コントロール・スキーマ

### 講座概要

手話通訳者の仕事は言語変換を行うだけではありません。手話通訳の現場で直面する「どうしよう」（デマンド）に対して、最善の「こうしよう」（コントロール）を選択するための枠組み、デマンド・コントロール・スキーマ（DC-S）。対人専門職として倫理的な意思決定を行うための考え方について学びます。DC-Sを日本に紹介し、地域の手話通訳者研修で注目を浴びている高木真知子氏によるオンデマンド講義です。受講期間は3ヶ月ありますので、ご自身のお仕事等の都合に合わせて学習に取り組んでいただけます。

※受講前に、『デマンド・コントロール・スキーマ 対人専門職としての手話通訳—倫理的・効果的な意思決定のために』（明石書店）を読んでおくことをおすすめします。

<https://www.akashi.co.jp/book/b613312.html>

※手話通訳学習者、手話通訳者、手話通訳指導者の方が対象となります。学生は無料です。

※講義動画には字幕がついています。

実施責任者：共同教育学部 特別支援教育講座 教授 金澤貴之

日程	講義内容	講師
3月3日(月)～11月28日(金) 随時受付 eラーニングシステム登録後 3ヶ月間受講可能	第1回：DC-S（1） 第2回：DC-S（2） 第3回：DC-S（3） ※それぞれの回の最後に確認問題があります。	（講義） 手話通訳者・高木真知子  （確認問題） 共同教育学部特別支援教育講座・准教授・中野聡子